

令和6年度 第1回 岬町子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時	令和6年8月9日（金）14:00～15:10
2. 場 所	岬町役場2階会議室
3. 出席者	<p><委員>（順不同）9名 山崎委員、廣田（孝子）委員、廣田（泉）委員、辻下委員、谷田委員、 平山委員、保田委員、太田委員、吉田委員 （欠席）江川委員、河合委員、浅井委員、森澤委員、橋本委員、奥田委員</p>
4. 傍聴者	6名
5. 次 第	<p>議題</p> <p>(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果について (2) 第2期みさき子どもとおとなも輝くプランの評価について (3) 第3期みさき子どもとおとなも輝くプラン策定方針について (4) その他</p>
6. 資 料	<p>〔資料1〕 アンケート調査報告書 〔資料2〕 第2期計画の総括 〔資料3〕 第3期計画策定方針 〔資料4〕 計画策定スケジュール（案）</p>

1 開会及び会議の成立について

（事務局）

委員の半数以上が出席（15名中9名出席）。

「岬町子ども・子育て会議条例」第6条第2項の規定により、会議の成立を報告。

2 議事録の作成・公開及び傍聴者の受入れについて

（事務局）

当会議については議事録を作成の上、公開したい。議事録作成のため、録音についても許可願いたい。また、傍聴者の受け入れを許可したい。本日の傍聴の申し出は6名。

3 議題

(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果について

資料1を用いて、担当課より説明を行った。

（委員）

人のつながりや地域のつながりが低下しているのは、コロナ禍が要因なのか。

（事務局）

核家族化が要因と考えられるが、コロナ禍も影響していると考えられる。

(委員)

地域によって格差があると思うが、このアンケートの結果は淡輪地区の人の意見が大きく影響しているのではないか。

(事務局)

回答結果としては、ご指摘のように淡輪地区の人が7割を占めている。地域性が重要な設問については、クロス集計を行い、地区ごとの違いがみられるように集計した。

(委員)

地区ごとの特徴で、特にみられたものはあるか。

(事務局)

資料に掲載している通り、体験活動のニーズや遊び場の満足度は、地区による違いがみられる。人のつながりや地域のつながりについて地域性がみられるかについては、必要に応じて報告書に掲載したい。

(委員)

遊び場の満足度についての結果については、もう少し何が不満なのかというところも知りたいが、わかることがあるか。

(事務局)

身近な遊び場や雨の日でも通えるような場所がほしいとか、図書館に乳幼児がいられる場所がほしい、公園の遊具を新しいものに替えてほしいといった声が、自由回答にみられている。今後計画を策定する中で、方向性を考えていきたい。

(委員)

地区の格差や時代の変化を意識しながら考えていかないといけない。4地区をできるだけ平等にお願いしたい。

(事務局)

社協でも活動いただいているところであるが、行政としてもハード面の整備について、ご意見を各課で共有しながら検討していきたい。

(委員)

図書館の話は進んでいると思うが、公園については何か話はあるのか。

(事務局)

公園については、現在町内に51か所ある。子どもの数の減少や老朽化を踏まえて、どのように再編していくかは検討中である。

(委員)

十分な状態でないのが、アンケート結果に表れていると思う。校区内に自転車でいけるような公園が整備されていれば、もっと満足度は高くなっていくのではないか。また、アンケート調査はインターネットでの回答はできなかったのか。

(事務局)

今回は予算の関係でできなかったが、次回は検討したい。

(委員)

自由記述の中で、子育て支援センターで職員からの声かけがないことへの不満が書いていた。私も活動する中で、声かけが少なくなっているような印象を持っている。

(委員)

私も4月に異動してきたところだが、子育て支援センターに来られた方に挨拶はしているものの、いきなり悩みを聞きに行くわけにもいかないのが、様子を見ながら対応している。自由記述を書かれた方の状況が詳細にはわからないが、単に遊び場として気軽に来たい方もおられることも踏まえて、子育て支援センターのPRは行っている。コロナ禍で活動に制限がかかったということはあるので、踏み込みすぎず、保護者のニーズに合うような活動をしていきたい。

(委員)

自由記述の中で、学童保育の先生についての不満が多くみられるが、どのような指導がされているのか。

(事務局)

研修の機会は毎年設けているが、保護者からの意見があった場合はその都度指導をしている。改善されない場合は、研修内容を検討する必要がある。

(委員)

学童保育の先生は1年ごとで替わるのか。

(事務局)

更新制度になるので、長い人は10年継続しているが、ずっと同じ先生というわけではなく、人事異動もある。

(委員)

自由意見には色々意見があるが、学童保育は宿題の見守りはできても、学習指導は難しいのではないかと思う。

(2) 第2期みさき子どもとおとなも輝くプランの評価について

資料2を用いて、担当課より説明を行った。

(委員)

子どもの権利に関する取組みの成果や課題は、具体的にはどんなものがあるのか。子どもたちに自分たちの権利を学ぶ機会があるのかうかがいたい。

(委員)

教育委員会としては、まだまだ取組みが少ないと感じているが、今後機会を設けたい。

(委員)

意見表明のできる環境をつくるなら、子どもが権利を学べる機会をつくれば、虐待やいじめも回避していけるのではないか。「なんでやねん！すごろく」というのがあって、そうしたものを活用することで、子どもたちは嫌なことは嫌と言っていいと認識できる。

(委員)

自分の意見を言っているということは、日々の教育でもやっているが、それがこどもの権利であるというところは、今後やっていかないといけない。

保育園にSCを配置しているということだが、どのような状況か。

(事務局)

淡輪保育所は1日6時間貼りついているが、多奈川・深日は半日ずつ。予約枠はいっぱいという状況が続いており、事業としては継続していきたいと考えている。

(委員)

これまで保育士や園長が行っていた保護者への対応に、SCが加わることによって専門的なアドバイスを受けることができるようになっており、保護者の安心感につながっている。

(委員)

ご家庭の課題について、就学前の取組みが増えるのはいいと思う。

(3) 第3期みさき子どもとおとなも輝くプラン策定方針について

資料3を用いて、担当課より説明を行った。

(委員)

障害や不登校についてはどのような扱いになるのか。

(事務局)

本町では障害児福祉計画を策定しており、専門的な支援については特化した計画で詳細に記載することとしたい。そうした形で、次期計画では、専門的な計画があるものについてはそれを参照、というような表記をして、事業を整理したいと考えている。

(4) その他

次回の会議は12月頃に開催予定。